

山形県工業会 先進地視察研修を実施しました



11月13日(水)、山形県工業会主催の標記研修会が開催され、工業会会員25名が参加しました。

本研修会は、会員製造業の発展に資することを目的に、先進的取り組みを実施している企業への視察訪問を実施しているものです。今回は、ミクロン精密株式会社 みはらし工場(上山市)と、株式会社マイスター(寒河江市)の2社へ訪問しました。

1社目に訪問したミクロン精密株式会社は、昭和36年に設立、心なし研削盤(セントレスグラインダ)と内面研削盤(インターナルグラインダ)の開発、設計、製造、販売を行っています。今回訪問したみはらし工場は、本社に隣接していた機械加工分野の第二工場の老朽化に伴い、平成28年に上山市みはらしの丘に建設されました。視察では、自社の取組みや技術、製品の加工工程について詳しく説明があり、実際に製品加工を行っている工場内の機械等の見学も行いました。

2社目に訪問した株式会社マイスターは、昭和55年に設立、主に切削工具の再研削、特殊切削工具の設計製作、メーカーの量産製造ライン等で使用される自動機の精密治具工具部品の製造を行なっています。多様な人材、年齢層、経歴等に目を向けた働きやすい環境づくりを行っており、平成25年には、経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞しています。視察では、自社のダイバーシティ経営戦略や人材育成、工場のIoT化等について詳しく説明があったのち、工場内の見学も行いました。

参加者からは、「技術に関しての丁寧な説明や企業の取組み方針を聞くことができて大変参考になった」「実際に工場内を見学できて勉強になった」との声が非常に多くあり、大変有意義な視察研修となりました。

山形県中小企業団体事務局協議会 視察研修を実施しました

11月14日(木)、山形県中小企業団体事務局協議会主催の標記研修会が開催され、協議会会員15名が参加しました。

本研修会は、会員の資質向上と交流親睦に資することを目的に例年実施しているものです。今回は、株式会社庄司製材所 ウッドトラス金山(金山町)および同社 及位中学校工場(真室川町)、株式会社山形メタル(新庄市)の2社へ訪問しました。

1社目に訪問した株式会社庄司製材所は、昭和61年に設立、国産木材の製材および販売事業を行っています。平成25年には、旧町立及位中学校を買い受け製材工場を建設しました。及位中学校工場の体育館には海外のバイオマスボイラーを導入、製材時に出るバーク(樹皮)や端材を燃やして木材の乾燥室として利活用しており、その余熱をさらに農作物(いちご、バナナ、アロエ、レモンなど)の栽培にも利用しています。

2社目に訪問した株式会社山形メタルは、昭和49年に設立、建築用内外装パネル製造、建設機械部品製造等を行っています。設計から板金、塗装、組立までを一貫生産した自社ブランド製品で提案営業を行うことができるのが強みです。多種にわたる付加価値塗装(耐候性、低汚染、遮熱、対塩害)を行うことが可能で、量産から多品種小ロット生産まで幅広く対応しています。

参加者は、各訪問企業の施設を見学し、企業担当者から詳しい説明を受けました。県内企業の取組みや強みを知ることができ、参加者にとっては新たな刺激となりました。

